

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	安全な歩行空間整備事業			事業番号	33-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部	古尾谷栄一	道路整備課	佐野 晃	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	15	安全で円滑な移動ができるまちをつくる	
		施策	33	安全な交通環境の整備	
予算事業名	歩道設置等整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	伊勢原市道路特定事業計画			計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	本格的な高齢社会を迎えた現在、高齢者や障害者、全ての人が、安全で安心して暮らしやすいまちづくりには、安全な歩行空間整備が必要とされている。また、将来を担う児童の通学路の交通安全確保についても、通学路等安全点検を通し、着実かつ効果的な取組の推進が求められている。				
目的 (何をどうしたいのか)	通学路をはじめとする市道の安全で安心な交通環境の向上を図るため、歩道や歩車共存道路等を整備します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び道路利用者				
事業内容 (手段、手法など)	伊勢原市道路特定事業計画や、通学路等安全点検結果に基づき、歩道整備工事、バリアフリー化道路工事、歩車共存道路整備工事を実施します。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	歩道等整備工事	測量設計、用地、補償、工事	測量設計、用地、補償、工事	測量、用地、補償、工事	
	バリアフリー化道路工事	計画調整	工事	工事	
歩車共存道路整備工事	工事	工事	工事		
目 標	【指標名】	【現状値】	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長	3,670m (平成28年度)	6,700m	8,340m	9,880m



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	通学路点検や地元要望等に基づいて、安全・安心に通行できる歩行空間の整備を計画的に実施します。				
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外				
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>		
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>		
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>		
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>		<b>年度</b>		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	歩道等整備工事		測量設計、用地、補償、工事	測量、用地、補償、工事	
	バリアフリー化道路工事		計画調整	測量・設計	
	歩車共存道路整備工事		工事	工事	
<b>実施した取組の内容</b>	歩道等整備工事については、5路線で測量、用地、補償、工事を行いました。また、バリアフリー化道路工事につきましては、1路線の測量・設計を行い、歩車共存道路整備工事につきましては、3路線のグリーンベルト工事を行いました。				
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>		<b>年度</b>		
	<b>【現状値】</b>		平成30年度	令和元年度	令和2年度
歩道、バリアフリー化道路及び歩車共存道路の整備済み工事延長		3,670m (平成28年度)	6,546m	7,856m	

<b>コスト</b>	<b>年度</b>		<b>平成30年度 実績</b>				<b>令和元年度 実績</b>				<b>令和2年度 実績</b>				
	<b>事業費合計 (a)</b>		200,965		千円	145,738		千円	0		千円	0		千円	
	<b>内訳</b>	国県支出金 ①		96,508		千円	73,117		千円	0		千円	0		千円
		地方債 ②		92,400		千円	67,500		千円	0		千円	0		千円
		その他特財 ③		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		一般財源 (a)-①-②-③		12,057		千円	5,121		千円	0		千円	0		千円
	<b>国県支出金の内容</b>		防災・安全社会資本整備交付金(補助率:5.5/10、市4.5/10、国5.0/10、市5.0/10)												
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無				<b>前回の改定時期</b>							
		<b>その他</b>													
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>		2.9	人	24,679	千円	3.1	人	26,970	千円	0	人	0	千円
		<b>その他の職員</b>		0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		<b>人件費合計 (b)</b>		2.9	人	24,679	千円	3.1	人	26,970	千円	0	人	0	千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>		225,644		千円	172,708		千円	0		千円	0		千円	
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	市民		単位	市民		単位	市民		単位	市民		単位
			<b>対象数</b>	102416		人	102,248		人	102,248		人	102,248		人
<b>総事業費 / 対象数</b>		2,203		円	1,689		円	1,689		円	1,689		円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	実施計画に従って歩道整備工事や歩者共存道路整備工事等を実施し概ね計画どおり進んでいます。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	事業を実施する上で一律に比較できません。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	計画的な歩行空間整備により、子どもや高齢者、障害者など誰もが安心・安全で円滑に移動できる道路環境を確保できた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	実施内容の優先順位を精査し、国の交付金を最大限に活用し効率的に事業を実施した。


 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	市民からの安全な歩行空間整備の要望は強く、引き続き事業を実施する必要がある。課題としては、財源である国の交付金の確保と、用地取得が伴う歩道設置事業では関係地権者に事業の必要性を理解して頂き用地協力等を得ることにより事業の進捗を図ることができる。
令和2年度の取組方針		通学路点検や地元要望等に基づいて、安全・安心に通行できる歩行空間の整備を計画的に実施します。		
所管部長による総評		依然として歩行者の交通事故被害が目立ち高齢運転者の重大事故も多発している。そのため、交通事故から市民を守る観点での道路交通環境の改善が引き続き重要になっており、誰もが安全・安心で円滑に移動できる歩行空間を確保するため、本事業を継続的かつ効率的に推進することにより、交通事故の防止と交通の円滑化が図られるものと考えます。		